

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【公表番号】特表 2019-530793 (P2019-530793A)

【公表日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-043

【出願番号】特願 2019-537041 (P2019-537041)

【国際特許分類】

C 0 8 L 9/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/013 (2018.01)

C 0 8 L 7/00 (2006.01)

C 0 8 L 45/00 (2006.01)

C 0 8 F 32/04 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 9/00

C 0 8 K 3/013

C 0 8 L 7/00

C 0 8 L 45/00

C 0 8 F 32/04

B 6 0 C 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 8 日 (2020.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 合成ジエンゴム及び天然ゴムからなる群から選択されるゴム成分；

(b) 約 5 ～ 2 5 0 p h r の量の少なくとも 1 つの充填剤；及び

(c) (i) 約 8 0 ～ 約 1 3 0 の軟化点；(i i) 約 5 0 0 g / m o l ～ 約 7 7 5 g / m o l の範囲の数平均分子量 (M_n)；(i i i) 約 3 8 ～ 約 8 1 のガラス転移温度 (T_g) を有するテルペン系樹脂であって、(i v) 該樹脂がリモネンを実質的に含まない、テルペン系樹脂

を含むタイヤトレッド組成物。

【請求項 2】

前記テルペン系樹脂が、 - ピネンホモポリマーである、請求項 1 に記載のタイヤトレッド組成物。

【請求項 3】

前記テルペン系樹脂が、該テルペン系樹脂の総重量に基づいて少なくとも 9 9 重量 % の - ピネンを含む、請求項 2 に記載のタイヤトレッド組成物。

【請求項 4】

前記テルペン系樹脂が、 - ピネンと - ピネンとの混合物であり、ここで - ピネンが、前記テルペン系樹脂の総重量に基づいて少なくとも 8 0 重量 % の量で存在する、請求項 1 に記載のタイヤトレッド組成物。

【請求項 5】

前記テルペン系樹脂が、65 : 35 ~ 85 : 15の範囲の比で存在する - ピネンと
- ピネンとの混合物である、請求項1に記載のタイヤトレッド組成物。

【請求項6】

前記テルペン系樹脂が、約500 g/mol ~ 約775 g/molの範囲の数平均分子量 (M_n) を有する、請求項1に記載のタイヤトレッド組成物。

【請求項7】

前記テルペン系樹脂が、約1300 g/mol ~ 約1600 g/molの範囲のz平均分子量 (M_z) を有する、請求項1に記載のタイヤトレッド組成物。

【請求項8】

前記テルペン系樹脂が、約60 ~ 約150 の軟化点、約800 g/mol ~ 約1100 g/mol、約500 g/mol ~ 約775 g/molの重量平均分子量、約1300 g/mol ~ 約1600 g/molのz平均分子量、及び約38 ~ 約81 のガラス転移温度 (T_g) を有する、請求項1に記載のタイヤトレッド組成物。

【請求項9】

前記テルペン系樹脂が約1 ~ 約50 phrの範囲で存在する、請求項1に記載のタイヤトレッド組成物。

【請求項10】

成分c) がオレフィン性不飽和非酸性テルペン化合物である、請求項1に記載のタイヤトレッド組成物。